

令和元年度 教員地域貢献活動支援事業(協働型) 成果報告書

課題名	課題解決型まち活性化プロジェクト				
研究者	代表教員氏名	国際教養学部 教授 鈴木伸治			
	事業ユニットの構成(代表者除く)	国際教養学部 准教授 三輪律江			
提案者	京浜急行電鉄株式会社				
課題	<p>金沢区は横浜市の中で最も人口が減少しており、京急沿線の中でも高齢化が進むエリアである。そのため若年層や新規入居者の減少により、将来、地域の衰退が予想されている。特に、当社が大規模分譲をした戸建住宅地がある能見台・富岡地区においては今後課題が顕在化することが予想されている。また、区心部においては、集合住宅の建て替えなどを想定し、新たな時代の土地利用の検討が必要とされている。</p>				
課題解決の方法	<p>平成29年度のアンケート調査および30年度の住民参加型ワークショップによって、能見台地区においては、地域住民の交流の場としてのサードプレイスの必要性、増加しつつある単身高齢者のサポート、子育て世代の流入の促進など、複合的な課題が存在することが確認された。令和元年度は京急ショッピングプラザのオープンスペース活用および、および旧京急サービス棟の暫定利用を通して、住民意見の集約および、郊外住宅地の新たなビジョンとその中核となるコア施設群の提案作成を中心に行うこととした。</p>				
研究実績報告(スケジュールと内容・成果)	<p>能見台・富岡地区については拠点形成の可能性をさぐるために、5月および10月に旧京急サービス跡地の空間を活用した活性化イベントを実施した。 また、2月からスタートした地区のまちづくりイメージ作成を目的とした住民参加型ワークショップにも企画立案段階から関わり、研究室でワークショップに参加した。残念ながら新型コロナウイルスの影響によって、ワークショップの第三回および、まちづくりイメージ策定のための懇談会については中止となってしまった。 区心部については、区役所が実施したワークショップに研究室メンバーとして参加し、区心部活性化を目的とした公共空間活用イベントの企画を立案した。現時点では2020年7月にイベントを金沢八景駅前の広場空間を利用して実施する予定である。</p>				
連携機関(提案者以外)					
得られた効果及び自己評価	<p>能見台・富岡地区については、2回のイベントを通して、郊外の戸建て住宅地における拠点形成の可能性について十分確認することができた。拠点となる地区については、住民ワークショップの結果なども反映させつつ提案を作成する予定であった。関係者の調整に時間がかかり、ワークショップの開始に時間がかかったこと、また、年度末にかけてコロナウイルス対応により、全体のプロジェクト進行がストップしたため、十分な成果をあげることができなかった。 区心部については、ワークショップへの参加によって、住民との協働により、公共空間活用イベントの企画まで進めることができたが、現在7月開催のイベントについても、現時点では開催を決定することができない状況であり、今後の状況に柔軟に対応していく必要がある。</p>				
今後の課題と展開	<p>本事業は次年度の継続が決まったが、ワークショップや懇談会の実施が遅れてしまったため、住民グループとのやりとりを通して、令和2年度中に拠点のあり方についてのビジョンおよび、区心部の公共空間活用モデルの提案を作成させたい。 しかしながら、現時点ではコロナウイルス対応により、プロジェクト全体の見直しの必要性もでてきており、令和2年度のプロジェクトの進め方については、柔軟に対応したいと考えている。</p>				
研究発表(投稿準備中、投稿中、発表予定を含む)					
特になし。					
研究成果による知的財産権の出願・取得状況					
知的財産権の名称	発明者名	権利者名	知的財産権の種類、番号	出願年月日(和暦)	取得年月日(和暦)
該当なし					